

4. 観光

	日時	年代	～20	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明	住所	タイトル	意見等
1	2025/6/1	60代						1			徳島市	オーストラリア向けの観光アピール	徳島にもお遍路や祖谷での滞在などで外国人観光客は確実に増えてきました。北海道のニセコのスキープームの発端はオーストラリア人スキーヤーからの情報発信から広がった話が有名ですが、今回徳島県からオーストラリアに向けての観光アピールを提言したいと思います。オーストラリアの形状は四国の形状とよく似ており、両者を重ね合わせて考えるとオーストラリアの大都市の多くは四国での徳島県の位置にすっぽりと収まります。そこで人口の多いオーストラリア都市部の人たちに向けてく「日本のミニオーストラリア、四国」へ行ってみませんか？>とキャンペーン活動をしてみればいかがでしょうか。自分の住む場所と似通った場所の存在は気になり、それなら行ってみたいとの需要を掘り起こせるかもしれません。また徳島県に限定せず、四国遍路と連動した形で疑似オーストラリア1周旅行として四国全体で売り出す方法もありそうです。神奈川県では「三浦半島はイタリア半島」プロジェクトなるものが展開中です。何がどう当たるかわからない時代です。徳島県でも郷土の特徴をあらゆる面で活かしながら観光に活かしていけばよいのではないかと思います。
2	2025/6/12	60代						1			北島町	あすたむらんど管理について	以前ニュースを拝見し、また、先月のフリーの目安箱への管理者を擁護ともとれる書き込みを拝見し、僭越ながら私の意見を書かせていただきます。管理会社のことはニュース等で見えるイメージのみで直接的な接点はなく、あすたむらんどに従事する一部職員の対応以外存じ上げないところではございますが、管理会社の上層部は飯泉前知事と深いつながりのある方ようで、それゆえ長きに渡り指定管理施設をはじめ県関係の事業を多数受託したことで企業存続し、それに胡坐をかいての怠慢からくる綻びが表れているように見受けられます。こと、吉野川巡り。設備不具合による長期運休とのことでしたが、20数年ほんとうに適切な設備管理を行っていたのか？私も子供が小さいころや近年は孫を連れ遊びに行っておりますが、いつ行っても水が汚い、舟も古い感じがおりレーンには錆が目立ち乗っているときには異音を感じたことも。年2回メンテナンスをしていると職員から聞いたことがありますが、あの規模のものを年2回それも数日ですべて点検し故障箇所を発見し修繕できるものですか？特注品を直せたのはすごいと書かれておりますが、特注品ゆえ部品が製造でき修理できたのでは？むしろ20年以上使っているものなら日ごろからちゃんと点検し故障が想定されるなら早めに部品を手配していればもっと早く再開できたのでは？それをしなかった管理者の怠慢では？他のテーマパークに同じような乗り物があります。興味本位で調べたところあすたむらんどと同じ業者が入っているようですが、日ごろから安全管理徹底されており点検を怠らずあすたむらんどのような半年も運休になるような管理はされていないようです。また、科学館はイベントにも創意工夫されていると感じますが、屋外公園のイベントが昨年の秋ごろから格段に質が落ちたように感じます。それまでは季節やイベントに合わせて音楽を変えたりイベントにあわせたラジオ番組が流れたり色々趣向を変え大人も子供も楽しめるものがありましたが、手抜きというか同じことだけ適当にやっていたらいいとも思っているのでしょうか。同じ会社が長期政権を取ると今回のような怠慢や杜撰な管理となりがち。知事も変わったのだから、徳島をよくするためにも見直しをこー考いたしたい。
3	2025/6/19	20代	1								大阪府	ヤシの木とバイクと鳴門東リゾート	ふざけたタイトルから失礼します。自分は大阪府在住の大学生です。経済学部で観光について学んでいます。今は大阪ですが生まれも育ちも鳴門市の人間です。いきなりですが、単刀直入に本題を話すと、「鳴門東の海沿いにヤシの木を植えて欲しい」です。ふざけたこと言っているように思われるかもしれませんが、ヤシの木には植物だけでなく凄い力を秘めていると考えています。まず観光地、イメージ戦略の面です。実際に鳴門東の周辺は大鳴門橋を始め、渦潮や大塚国際美術館、綺麗な海沿いの道と素晴らしい観光資源に恵まれています。そこにヤシの木を植えることにより、「南国感」を引き出せると思います。今も数本生えているのは知っていますが、もっと一列に並べるとあそこを通る時に「おっ！南国っぽいなあ」と思って貰えると思います。これは実際に宮崎県や静岡県熱海でも何となくイメージが着くと思います。そういう具体的に何とは言えないけど、熱海…と思うと何となくヤシの木が想像できて南国のリゾート地感が出るというイメージ戦略も大切だと思います。他にもヤシの木を植えることにより、南国感が増し、周辺の沢山ある宿泊業のPRにも使えると思います。他にも海沿いのヤシの木が生えているような地域は別荘地として好まれることが多く、新たな移住者の増加も見込めると思います。ここからはバイクについて話します。自分も大阪でアメリカンバイクに乗っています。そこで関西のバイカー達は淡路島に行ったことのある人がとても多いです。ですが淡路島止まりで徳島県までは来ないです。なのでその淡路島まで来てくれる関西のバイカー達をどうにか鳴門市まで引っ張ってくるにはヤシの木を植えてツーリングスポットにするしかないと思います。幸い近くにはなるとスカイラインというドライブスポットもあり、絶好のチャンスだと思っています。実際に千葉県千葉フォルニアという場所ではヤシの木を沢山植えたことにより全国からバイカーや車好きが集まるスポットにもなっています。色々な面も含めてヤシの木は街にとって大きなメリットを生み出すと考えています。どうかなんと東地区をオシャレな今風の南国リゾートにして欲しいという若い人間の願いでした。